

広島県中小企業団体中央会 2019年1月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

1月の出荷量は前月比30.4%減少、前年同月比2.4%増加となり、売上高は前月比29.6%減少、前年同月比0.3%増加となった。

繊維・同製品

●衣服・その他の繊維製品

広島県アパレル工業組合

暖冬により売上が減少している。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県北部国産材加工協同組合

暖冬の影響で丸太の順調な生産が続き、一時は高止まっていた価格は弱含みしている。製品の納材も順調で、需給バランスがとれてきた。

運送業の人手不足の影響により、配送がネックとなり始めている。

福山木材協同組合

例年1、2月の荷動きは良くない。今月も前年同月比減少となった。3月以降に期待している。

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・平成30年12月の全国の住宅着工戸数は78,364戸で前年同月比2.1%増加
- ・季節調整済年率換算値では96.1万戸(前月比0.6%増加)
- ・利用関係別では、持家は24,415戸で前年同月比4.8%増加、貸家は30,788戸で前年同月比7.9%減少
- ・分譲住宅は22,756戸で前年同月比16.5%増加
- ・木造住宅の着工数は46,815戸で前年同月比3.0%増加となった
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で先月の減少から再び増加となった

<広島>

- ・広島県内の12月の着工戸数は1,757戸で前年比10.2%減少、このうち持家は452戸で前年比変化なし、貸家は872戸で前年比24.6%減少、分譲は421戸で前年比21.0%増加
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で4ヵ月連続の減少となった
- ・地域別では広島市が着工戸数1,019戸で9.0%減少、福山市が189戸で35.1%減少、東広島市が131戸で12.7%減少、呉市が50戸で15.3%減少の一方、廿日市市が138戸で155.6%増加、尾道市は83戸で36.1%増加と地域ごとにばらつきがある
- ・プレカットを中心に木造住宅需要は堅調さを維持し、豪雨災害復興がらみの改修や一部で立替工事もできている
- ・製材業界第2位の原木商材からの撤退などにより、資材供給に対する懸念や不安が広がっている
- ・運送業の人手不足による配送ネックや、施工管理や現場の大工不足が深刻化している
- ・地域・企業間での繁閑差が顕著で、非住宅建築物の増加への期待はあるが不安要素も多く、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

人材確保が難しいと聞かすが、今いるスタッフの満足度を高めることが大切であると実感している。社員満足度を高めて皆で企業づくりをしていくことが働き方改革に繋がると思っている。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から大きな変化はない。

AI、IoT、ロボット化、自動化などを地道に推進し、人手不足や景気の変動に備えていかなければならない。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

自動車関連の売上は順調に推移している。全体的にも売上は現状を維持している。しかし、今年は不安定要因が多く先行きが懸念される。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

31年1月 2,387m³ (前年比5.76%増加)

30年12月 2,948m³

30年1月 2,257m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

3月末で組合員が1名減少する。

4月から空き工場へ入居予定の事業者は組合へは加入しないため、組合員が減少していく一方である。

鞆町中心部の交通対策として山側トンネルのルート案が示されたので、加えて高速道路へのアクセス等道路の拡幅を含めた計画の全体改良を期待したい。

一般機器

●一般機械器具

出島工業会協同組合

組合員の動向に大きな変化はない。

組合の課題としては、役員の高齢化及び世代交代である。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、スポット受注による売上増加等により、前月比9.7%増加、前年同月比67.1%増加となった。

リョービ関連工業協同組合

米中貿易摩擦による受注減が懸念される。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は、輸出の受注が減少傾向にあることと、国内の装置向け部品が低調のため、前年同月比5.0%減少した。前月比は特に大きな変化はない。

人を募集しても集まらない。残業規制を望んでいない労働者もいるため、残業規制への対応に苦慮しそうである。

取引先からはコストダウン要請があるが、人件費の上昇を吸収しきれない状況にある。

最低賃金が人件費上昇の要因であり、上昇分を吸収しきれず経営を圧迫している。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。

- ・1月の国内自動車販売台数は全需が408千台、前年同月比2.1%増加と2ヶ月振りの前年超え。登録車は前年同月比2.3%増加と2ヶ月振りの前年超え、軽自動車は前年同月比で1.8%増加と7ヶ月連続の前年超え。マツダ車は6.1%減少と2ヶ月連続の前年割れ
- ・アメリカの12月の全需は1,627千台で前年同月比1.5%増加と2ヶ月振りの前年超え。マツダ車は同3.8%減少と6ヶ月連続の前年割れ
- ・欧州の12月の全需は1,297千台で、前年同月比6.9%減少と4ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は前年と同数であった
- ・中国の12月の全需は2,754千台で、前年同月比10.0%減少。マツダ車は同37.8%減少と8ヶ月連続の前年割れ
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の12月の海外販売合計台数は112千台、前年同月比10.8%減少と4ヶ月連続の前年割れ
- ・マツダの12月の輸出動向については、輸出台数は前年比14.5%増加と3ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの12月の国内生産台数は、前年同月比4.7%増加と3ヶ月連続の前年超え

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成31年1月の船舶建造許可実績は5隻170,200総トン(前月3隻140,850総トン、前年同月3隻236,100総トン)であった。なお、内訳は国内船が1隻で全てが貨物船、輸出船は4隻のうち貨物船が3隻、油槽船が1隻であった。

●輸送用機械器具（造船）

（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

人件費、物流費が上昇傾向にあるものの、全体としては経費削減等により収益環境は横ばい。「資材関連」においては、公共工事が件数・金額ともやや減少傾向にあり、需要が減少傾向にある。「雑貨」においては、暖冬の影響もあり、季節商品の動きが鈍く厳しい見通しである。「食品」においては、前年並みで推移する見通しである。「繊維」においては、暖冬の影響から冬物の動きが鈍く厳しさが強まっている。最低賃金の上昇や近隣商業施設との人材獲得競争により賃金コストが上昇、人手不足感も継続している。人手不足感から新たな仕事を受けることができない状況も発生している。足下の売上はやや減少してきているが、経費削減もあり、なんとか収益環境は横ばい傾向にある。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

11月の住宅着工状況は、前年同月比14.3%減少となった。内訳としては、持家5.5%増加、分譲7.6%減少、貸家24.0%減少となった。全体では大幅な減少となったが、持家は2ヵ月連続での増加となった。年明けは長期休暇の影響もあり、資材の動きは鈍い。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

業界では消費拡大に向け、展示会やイベントを開催しているが、光明は見えてこない。熊本・福岡・広島などの生産県での今月の商品の動きは横ばいである。2月から4月にかけて需要は上向くものと見ている。一方、中国産表では、旧正月が済みしだい生産は活況を呈するものと見ている。価格は国産及び中国産も横並びで推移する見通しである。日本の文化を継承する畳の需要拡大に様々な協力をお願いしたい。

小売業

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

生鮮相場は仕入単価が高値で推移している。野菜相場は平年並みに戻りつつあるが需要が伴わず売上が低迷している。食品小売業界は売上高が低迷しており、内閣府の月例経済報告では「景気は緩やかに回復している」と発表されたが、未だ景況感に好転は見られない。

協同組合三次ショッピングセンター

今月は天候に恵まれたことと、前年に比べてイベントを多く実施したことが、客数と売上増に寄与した。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比0.3%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比1.7%増加、冷蔵庫同4.1%増加、洗濯機同1.4%減少、IHクッキングヒーター同1.4%減少、電気温水器同2.5%増加、エアコン同7.3%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

年末を機に原油価格は上昇に転じているが、需要の減少から販売価格に転嫁できない状況である。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

暖冬の影響等により値下セールの売上が振るわない。

呉本通商店街振興組合

1月20日に実施したにぎわい創出事業を活用したイベントへは述べ900人近い来場者があり、大盛況であった。商店街への継続的な来街に繋がるよう、次回開催についても検討していきたい。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比7.6%減少、前年同月比13.5%増加。車検場収入は前月比7.9%減少、前年同月比13.3%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比13.4%減少、前年比1.8%増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

例年1月は閑散期だが、今年は稼働している。年度末に向けて仕事の受注増加が見込まれる。運賃値上げによる資材価格の上昇が悩みである。

●警備業

広島県警備業協同組合

人手不足が続いている。

建設業

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目について、今月は前月比5%減少、前年同月比22.5%減少、前年累計費は0.4%増加と12月末時点より下落した。3品目とも前年累計では横ばい状態である。

前年は年明けから年度末にかけて大型商業施設の新築が売上に寄与したが、今年は中小施設が多く売上が伸び悩んでいる。前年並みの売上は難しいことが予想される。

神辺建設業協同組合

公共事業の発注は、災害復旧関連工事及び年度内工期の短期工事や維持管理メンテナンスを中心とした案件が多く発注されている。

引き続き災害復旧事業関連による需要増加及び下半期案件の発注が予定されているが、常態化する業者、労働者及び資材調達の不足が懸念される。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受付件数は、前月比0.4%減少、前年同月比17.7%減少と減少した。平成29年度、28年度と比較して激減した。電気工事作業従事者（特に若手人材）が不足しているため、工事の受注を断らざるを得ない状況である。業界全体としても、作業不足は深刻な問題である。

運輸業

●道路貨物運送業

協同組合尾道地区総合トラックセンター

前月から特に変化はない。

松永地区トラック事業協同組合

1月の売上高及び貨物輸送量は、前年同月比、前月比大きな変化はない。

働き方改革関連法の時間外労働の上限規制が大企業は今年4月から、中小企業は2020年4月から施行されるが、自動車運送業務については長時間労働の実態を踏まえて2024年4月から適用される。5年間の猶予期間に取引環境が適正化され、長時間労働の是正や生産性向上の促進、多様な人材の確保が出来ればと思うが、業界全体とすれば実現していくことは非常に難しい問題ではないかと感じている。

広島輸送ターミナル協同組合

1月は閑散期のため売上、収益ともに減少した。

4月より働き方改革関連法が順次施行されることとなり、労働基準法と改善基準告示を遵守し収益を確保するには、ドライバーの確保と運賃、料金などの適正価格で収受、燃料サーチャージの付加が必要である。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

火力発電燃料が石炭からLPGへとシフトするに従い、石炭、コーコスの輸送量が徐々に減少している。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

今月は、公的評価（地価公示、相続税路線価評価）の仕事に注力したため、売上は前月比悪化した。前年同月比は特に変化はない。

年度末に向けては一般評価依頼が増加するものと思われる。

地価は依然として上昇傾向で推移している。売地が少ないため、特に利便性の良い平地は、不動産業者間の競争激化により地価が上昇している。